

INTERVIEW 国営ひたち海浜公園の自然資源を把握した植物のエキスパート

国営ひたち海浜公園は米軍の水戸射爆場の跡地で、昭和48年に返還されるまで、立ち入り禁止区域でした。そのため広大な自然の価値は知られていませんでした。返還後、当時勝田市在住の植物愛好家が、オオウメガサソウを発見し、調査が進みましたが、オオウメガサソウの生育地は北海道と青森県、そして茨城県の東海村と当時の勝田市にしかなく、希少な植物であることがわかり保護活動の気運が高まりました。ひたち海浜公園の整備では、開発と保全の両立に取り組んできましたが、私たちの調査でもオオウメガサソウがだんだん減少していることがわかり、現在では生育するマツ林を含めた保全活動に取り組んでいます。砂丘には、薄紫の可憐な花

のハナハタザオとギザギザの葉が特徴のカワラサイコが生えています。ハナハタザオは海岸の植物で、ひたち海浜公園の砂丘地帯を代表する植物です。静岡県や熊本県の山中で見られ、海岸に生育するのはひたち海浜公園だけです。沢田湧水池は昔田んぼだったところで、今は湿地になりミクリなど湿地特有の植物が見られます。オゼイトトンボも、沢田湧水池に生息しています。それぞれの場所で、どのような保全活動をされていますか。



水戸射爆場が返還されたのをきっかけに、この地の希少な自然の魅力が見出され、それらをひたち海浜公園が引き継ぎ、自然を維持していくことに取り組んでいます。マツ枯れや外来生物など、様々な変化が同時に起きていることが、調査によりわかっていきます。現状を維持するために、茨城生物の会「パートナー」・ひたち海浜公園が連携し、環境を保全する活動が活発に行われています。今後も自然環境を保全するために、活動を次の世代に引き継いでいくことが重要であり、課題となつていきます。外に出て、野生の生物を見たり、聞いたり、調べたりしてみたいと思う方ならいつでも始められますので、活動にぜひご参加ください。

INTERVIEW ボランティア活動を円滑に進める縁の下の方たち

ボランティア活動に参加してみたい方に、メッセージをお願いします。

パークパートナーは、365日いつでも募集中です。興味がある方は、まずは体験してみてください。活動を通して、地元の大事な財産であるひたち海浜公園の自然に触れていただきたいと思います。

いっしょに
ボランティア活動
しませんか



ここでしか出会えない希少な自然の魅力

自然を守る人の力

国営ひたち海浜公園の希少な自然を守るために



茨城生物の会 安嶋隆 先生

園内「樹林」「砂丘」「沢田湧水池」の貴重な自然資源の現状をお聞かせください。

今後も自然環境を保全するため、どのような活動が必要でしょうか。



ボランティア活動に
支えられて
ひたち公園管理センター
市民協働係
森 美紀子 さん

公園のボランティア活動の概要をお聞かせください。

平成11年度から、ボランティア活動が始まり、現在は15団体のパークパートナーが定期的に活動し、350人を超える方が参加しています。私たちは、活動が円滑に行えるようにサポートし、必要な品物の準備や、活動計画の管理を担当しています。広大で多様なひたち海浜公園の自然環境は、学術機関との連携や協力、生涯学習など様々な場にも活用されています。

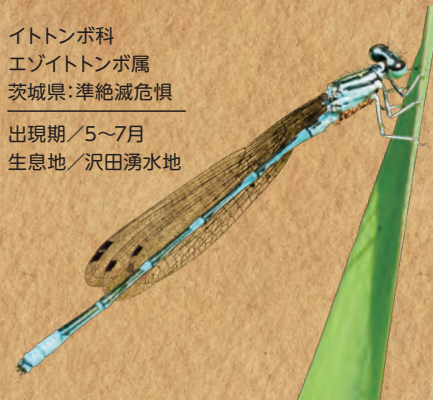
ボランティア活動の現状は、いかがですか。全パートナーが活発に活動しています。秋の「ボランティアまつり」では各パートナーの特徴を活かしたクラフト体験やレッスンが行われます。

環境保全活動に取り組むパートナーは6月の「環境シンポジウム」で活動成果の発表も行っています。

国営ひたち海浜公園 HITACHI SEASIDE PARK そよかぜ通信 2023年 初夏号 6月

イトトンボ科
エゾイトトンボ属
茨城県：準絶滅危惧

出現期／5～7月
生息地／沢田湧水池



湿原的な池沼や湧水がでるような小川などに生息。体長は3.3～3.8cmで、鮮やかな水色がオス、褐色がっているのがメス。

オゼイトトンボ

ミクリ

ミクリ科 ミクリ属
環境省：準絶滅危惧
茨城県：準絶滅危惧

開花時期／6～9月
生育地／沢田湧水池



河川、水路などに生育する多年生の抽水植物で、高さは70～100cm。「いがぐり」のような実をつけることから「実栗」と名付けられた。

カワラサイコ

バラ科 キジムシロ属

茨城県：準絶滅危惧

開花時期／6～8月
生育地／砂丘エリア

河川敷や海岸部の砂地などに生える多年草で、高さ30～70cmの茎に直径1cmほどの黄色い花を次々と咲かせる。



ハナハタザオ

アブラナ科
ハナハタザオ属
環境省：絶滅危惧Ⅰ類
茨城県：絶滅危惧Ⅰ類

開花時期／6～7月
生育地／砂丘エリア



ツツジ科 ウメガサソウ属
草状小低木(常緑)
環境省：準絶滅危惧
茨城県：絶滅危惧Ⅰ類

開花時期／6月上旬～中旬
生育地／ひたちなか自然の森



アカマツの林床で、高さ10cmほどの茎の先に直径1cmの淡いピンクの花を咲かせる。国営ひたち海浜公園は自生が確認されている日本の南限地となる。

わたしたちと一緒に、豊かな自然環境を守ってくれるボランティアを募集しているので、興味がある方は是非、裏面もご覧ください。

ひたち海浜公園では、これらの貴重な自然環境と生態系を保全するため日々、専門家やボランティアとの協働による保全活動に取り組んでいます。

貴重な 自然環境の保全

国営ひたち海浜公園では、汀線から内陸に向かって、その場所の環境に適応した植生が連続的に変化する様子が見られます。

内陸の樹林地では、海岸防風林として歴史的な経緯があるクロマツ林アカマツ林が広がっています。汀線周辺には標高30mを超える砂丘地に多様な海浜植物が生育しています。沢田湧水池では、砂丘に蓄えられた地下水が湧水となり、多様な水生・湿地性の動植物が生息・生育する湿地環境を造り出しています。

国営ひたち海浜公園 HITACHI SEASIDE PARK



常磐自動車道～北関東自動車道～常陸那珂有料道路▶ひたち海浜公園ICより約1km 常磐自動車道▶日立南太田ICより約15km ひたちなか海浜鉄道浜線▶勝田駅～阿字ヶ浦駅まで約30分、～同駅からタクシー～バスで約10分 JR常磐線▶品川駅より勝田駅まで特急で約85分、いわき駅より勝田駅まで特急で約60分、勝田駅から茨城交通バスにて海浜公園西口、南口下車／または駅からタクシーで約15分

●開園時間 | 9:30～17:00
●休 園 日 | 毎週火曜日

茨城県ひたちなか市
Hitachinaka City, Ibaraki Pref.

今すぐひたち海浜公園で検索! — <https://hitachikaihin.jp>
029-265-9001



	入園料 Standard Pricing		年間パスポート Annual Pass (駐車券付)
	一般 Individual (団体)	2日通し券 2-Day Pass (団体)	
大人[高校生以上] Adult (over 15 years old)	450円 yen (290円)	500円 yen (350円)	4,500円 yen (6,600円)
シルバー[65歳以上] Senior (over 65 years old)	210円 yen (210円)	250円 yen (250円)	2,100円 yen (4,200円)

	普通 Standard size	二輪 Motorcycle	大型(団体)車 Large size
	520円 yen	260円 yen	1,580円 yen
駐車料金(1日) Parking Fees for one-day	520円 yen	260円 yen	1,580円 yen
年間パスポート With Annual Passport	420円 yen	210円 yen	割引なし

【入園料・年間パスポート】
Admission Fees and Annual Admission Passes

中学生以下は無料です
Children (under 14 years old) are Free

